

1 市民意見公募の実施状況と結果について

(1) 公表した案

「立川市第3次環境基本計画素案」

(2) 案の公表場所

市ホームページ、企画政策課窓口、環境政策課窓口、立川市役所1階ロビー総合案内・3階市政情報コーナー、窓口サービスセンター、女性総合センター、子ども未来センター、たましんRISURUホール（市民会館）、連絡所、学習館、学習等供用施設、図書館

(3) 意見提出期間

令和7年4月1日～令和7年4月21日

(4) 結果

ア 提出者数 6名

郵送	ファックス	Eメール	HPフォーム	来所
0名	0名	0名	5名	1名

イ 意見の件数 14件

全体に関わること	第1章 計画の基本的事項	第2章 計画策定の方向性	第3章 目指すべき環境像	第4章 環境施策	第5章 計画の進行管理	その他
1件	0件	1件	0件	10件	0件	2件

ウ 市の回答結果

意見を反映するもの	市の考え方を説明するもの	その他
1件	13件	0件

※1名の方から複数の意見が提出されている場合は、それぞれの内容ごとに件数をカウントしています。

2 意見と市の考え方について

(1) 意見を反映するもの（1件）

整理番号	該当箇所	意見	市の考え方
1	第4章 第2節 基本目標1 個別目標1－2 再生可能エネルギーの利用促進	防災拠点となる公共施設等～の後に「(体育館・給食センター等)」を追記してはいかがでしょうか。 (理由) 防災拠点として、体育館・給食センターは重要な避難所施設であり、エネルギーの多重化によるレジリエンス確保は必要だと考えるためです。	「立川市地域防災計画」では、学校給食共同調理場については帰宅困難者用の食糧備蓄はあるものの、支援物資集配拠点等に位置付けられており、避難所としての指定はありません。しかしながら、災害対策本部代替候補施設や炊き出し・応急給食の提供などを担っており、防災上重要な機能を有していることについては小中学校と同様であることから、そのことを明確化するため、「防災拠点となる小中学校や学校給食共同調理場といった公共施設等においては～」と修正します。

(2) 市の考え方を説明するもの（13件）

整理番号	該当箇所	意見	市の考え方
2	全体	現状、世界のパラダイムが大きく変化しようとする中で、従来の脱温暖化対策も、大きく変化する可能性があります。これを念頭に置き、過度な再生可能エネルギーや電気自動車の導入策は、経済やその他条件を考慮して抑制的に表現した方が良いと思います。直面する環境問題を網羅した立派な内容だと思いますが、目標達成に向けての道筋は明確ではないと思います。市だけでは決して実現できません。事業者や市民を積極的に巻き込む仕掛けを提示してほしい	環境分野の取組は、社会情勢や国の制度といった外部要因に大きく左右される可能性があり、状況の変化に柔軟かつ適切に対応していく必要性については認識しております。ご指摘の通り、市のみの取組による効果は極めて限定的であることから、本計画では市民の取組例や事業者の取組例を記載するとともに、第4章の個別目標に「協働による環境行動の推進」や「環境行動の実践」を示し、具体的なアクションプランを掲

		と思います。 承認された後の動きかもしれませんが。	載しております。頂いたご意見については、今後、事業を実施する段階でも参考とさせていただきます。
3	第2章 第3節 計画策定に向けた 視点・課題	大変すばらしい。はっきりとした、いま必要な課題を5つ挙げてわかりやすく、必要かつ十分な視点課題だともう。	社会情勢の変化や市民の意識、前計画の総合的な評価などを踏まえ、計画策定に向けた視点・課題として整理しました。
4	第4章 第2節 基本目標1 指標	目標値と参考値(1年違い)の差は？ 目標値の算出根拠は？	本計画は令和7(2025)年度から令和16(2034)年度までの10年間を計画期間に定め、社会情勢等の変化に対応すべく、計画期間内に中間見直しを行うものとしており、見直しの対象とする令和11(2029)年度を目標値に設定しています。なお、算定にあたっては、BAUシナリオや電力排出係数の改善見込み、市の施策展開による削減ポテンシャルを推計し、算定しています。また参考値については、国や東京都が2050年カーボンニュートラルの実現に向けた中間目標年度として定める、令和12(2030)年度を参考値として記載しています。
5	第4章 第2節 基本目標1 指標	少ないのでは？もっと目標数を下げないと温暖化が進んでしまう。今現在もこれまでの予想より温暖化が早いのでから、厳しめの目標にすべきと思う。	当該目標値は、25頁に示しています「2030年度までに2013年度比で市内の二酸化炭素排出量を60%削減する」という中間目標年度に向け、年度ごとに均等に減少することを想定して設定しました。現段階では国の目標値を上回るものであり、修正は行いませんが、国及び東京都が掲げるカーボンニュートラルの実現や基本的な考え方に示した「良好な地球環境を次の世代に引き継ぐ」ために、計画期間の先を見据えた取組を検討してまいります。

6	第4章 第2節 基本目標1 コラム	家庭部門の目標達成施策の中で太陽光が入っているのは(違和感)→34%の世帯に太陽光を導入したら目標を達成できる、とほぼ等しい。太陽光以外の施策でどの程度削減できるかを正直に提示すべき	家庭部門における二酸化炭素排出量の削減には、すぐにできる取組(省エネ)と効果の大きい取組(再エネ・創エネ)、これら双方の推進により、エネルギーを効率的に利用していくことが重要だと考えています。当該コラムにおいては、省エネによる削減量と再エネ・創エネによる削減量の比較ではなく、相互を連携させた取組を推進したかたちでの割合について一例として記載しています。
7	第4章 第2節 基本目標1 個別目標1－3 コラム	電力データの活用→期待します！	市域の電力データを分析し、より効果的な環境施策の立案に活用してまいります。
8	第4章 第2節 基本目標1 個別目標1－3 コラム	データ取得と活用は大賛成。書いてあることもよいが、自分は自分の個人データを差し出してもよいので、そういう人にはお願いしてデータをもらってもよいと思う。再エネの量に応じてポイントでもつけて、各種の優遇をすれば応じる人もいるのではないかな。	他の自治体では、個人の方から電力データの提供を受けている事例があることは承知しておりますが、市内全域の状況の把握には課題があるものと認識しています。今回の取組は、市内全域のより正確な電力データの提供を事業者から受け、再生可能エネルギーの地産地消や市内経済循環等の環境施策の立案を目指すものです。ポイントの付与等の各種の優遇については、今後の環境施策の運営に対する貴重なご意見として参考にさせていただきます。
9	第4章 第2節 基本目標2 個別目標2－1	タベスケのアカウントを持ち、アプリもインストールしていますが、一度も食品購入に至ったことはありません。加盟店が少なく、増えたことも最近まで知りませんでした。個人的にはTABETEというプラットフォームの方が、駅構内	店舗が登録する際に初期費用や販売手数料が発生するなど、TABETEのプラットフォームは承知しております。それらの費用が一切かからない点を重視して、タベスケを導入した経緯があります。令和7(2025)年3

	ごみの発生抑制・再使用の推進	のお店を比較的遅い時間まで利用できる、加盟店を検索しやすいといったことから重宝しています。同じ食品ロス削減の観点であれば、TABETE も周知すべきだと思うのですが、タベスケがある以上難しいのでしょうか？プラットフォームにこだわらずに取り組むべき課題であると思います。	月 31 日現在、ユーザー登録は 2, 310 人、14 店舗となっております。利便性の向上に向けて、関係機関への協力依頼やイベントでの周知などにより、さらなる増加を図ってまいります。ご意見を参考に、フードシェアリングサービスの拡充を含め、食品ロスの削減に向けた取組を検討してまいります。
10	第 4 章 第 2 節 基本目標 3 市民の取組例 第 4 章 第 1 節 環境施策の体系	P 53 市民の取り組み例 5 番目 緑被率や緑視率 を使うのではなく樹冠被覆率をつかい、街路樹の剪定しすぎを改めるといれる。P36-1 脱炭素社会の実現、地球温暖化対策 に樹木による CO2 削減や蒸散の温度低下を加えて対策に植林も加える。	樹冠被覆率は地表面に対する枝葉の茂っている樹冠の投影面積の割合を示したものです。緑被率は緑で覆われた土地の面積の割合、緑視率は視界で捉える緑の割合を示す指標であり、緑の量を示す指標の例として取り上げています。街路樹のせん定は、植栽条件にあわせ「立川市街路樹のあり方方針」に基づき行います。二酸化炭素の削減等を目的とした植林を行う予定はありませんが、45 頁に個別目標として「脱炭素型まちづくりの推進」を掲げており、その中で「吸収源対策の推進」として、市民の緑地保全への理解・協力を得ながら、吸収源となる公園や緑地の適正な維持管理、整備に努めることとしております。
11	第 4 章 第 2 節 基本目標 4 個別目標 4－2 清潔で安全なまちの形成	私はたばこを吸わないのですが、立川市は喫煙所が少ない気がします。是非アクションプラン記載のように喫煙環境整備をお願い致します。	立川駅南北の公衆喫煙所は、それぞれ一日に 1, 000 人以上の利用者があり、扉の不具合が発生したり、お待ち頂いたりすることがありますが、設置にあたっての条件などに課題があり、現段階で公衆喫煙所を新たに設置する予定はありません。一方で、公衆喫煙所の機能を補完する目的で、民間事業者の設置・管理する喫煙所へ補助をする制度を設けている自治体もあり、本市においても研究を進めています。喫煙者と非喫煙者

			の共存に向け、喫煙所などのハード面とマナーアップなどのソフト面の両面で喫煙環境の整備に取り組んでまいります。
12	第4章 第2節 基本目標4 個別目標4-2 清潔で安全なまちの 形成	いつも喫煙場所に困ります。駅前には並んでいるし、吞んでいる時は駅前まで行くのが大変。 是非、南口に是非喫煙所を作って欲しいです。北口のように公園を含めて検討して欲しいです。応援しています。	立川駅北口の市制50周年記念憩いの場では、受動喫煙に関して多くの苦情等が寄せられていたことから、令和6(2024)年11月25日よりパーテーション型の喫煙所の供用を開始しましたが、設置にあたっての条件などに課題があり、立川駅南口を含め、現段階で公衆喫煙所を新たに設置する予定はありません。一方で、公衆喫煙所の機能を補完する目的で、民間事業者の設置・管理する喫煙所へ補助をする制度を設けている自治体もあり、本市においても研究を進めています。喫煙者と非喫煙者の共存に向け、喫煙所などのハード面とマナーアップなどのソフト面の両面で喫煙環境の整備に取り組んでまいります。
13	資料編	コミュニティバスの収支率が平成30年の目標数値に達していない状況で、40%という目標を設定するのは現実的なのでしょうか？また収支率をKPIにすると、極論を言えば利用客が増えずとも人件費等の運行経費を削減すれば達成できることとなりますが、1日の利用客数や輸送人員は指標としないのでしょうか？ この辺りは公共交通に関する計画で議論されるべき点かもしれませんが、環境改善のため・収支改善のためにどうやって利用客を増やすか、ルート再編等も視野に考えるべき課題に思えました。	当該目標値は、平成28(2016)年3月に策定した「立川市コミュニティバス再編計画」で地域公共交通の事業継続性を確保し、持続可能な交通環境を構築するため、5年後に目指した値です。頂いたご意見は、現在策定中の「立川市地域公共交通計画」の中で検討してまいります。
14	資料編	意欲的な目標を達成するための「市民参加」の例が貧弱。	市民参加につきましては、本計画の参考にすることを

		市が後援した環境イベントを列举したらいかがでしょうか？	目的に実施したものを記載しています。そのため、環境イベントについては列举しませんが、環境啓発を目的とした環境フェアや環境学習講座の開催、環境イベントへの後援などを通じて、市民が参加し、環境について考えるきっかけづくりに取り組んでまいります。
--	--	-----------------------------	--

(3) その他（参考意見として庁内で共有するもの）（0件）

整理 番号	意見